

「うずもれた古文書」

―みやこの漆紙文書の世界―展の開催

二〇〇六年二月七日から三月七日まで、飛鳥資料館において冬期企画展「うずもれた古文書―みやこの漆紙文書の世界」が開催された。『平城京漆紙文書―』の刊行に因むものである。

平城京跡、長岡京跡などの都城の漆紙文書の実物―一点の他、各地出土の漆紙文書の写真パネル三五点によって、「人を支配する」「田と稲を支配する」「時を支配する」「知を支配する」「ものを作る」の大きく五つの観点からの陳列を行なった。

「ものを作る」の大きく五つの観点からの陳列を行なった。都城の漆紙文書としては初めてのまとまった展示で、漆紙文書の空間的広がり、時間的広がりを味わえるものとなった。また、会場には赤外線テレビカメラ装置による漆紙文書の解読が体験できるコーナーも設置され、また今回新たに撮影した漆紙文書の調査風景のビデオも放映された。

なお、今回の展示に合わせて、カタログ（A4判一六頁。三〇〇円）も作成されている。飛鳥資料館にて販売中。